

# 検討事項に関する提案依頼等

2011年4月8日

# 検討事項に関する提案依頼等①

1

■検討会では、下記1～4の項目に分けて、①被災した通信インフラの復旧のために直ちに取り組むべき事項、②今後同様の緊急事態の発生に備えて、現行システムや技術を前提として取り組むべき事項、③技術革新を踏まえて取り組むべき事項などを検討する予定。

■については、下記(1)・(2)について検討・整理の上、4月15日(金)17時までに、事務局宛て提出いただくようお願いします。

(1)今回の震災等を踏まえ、上記①～③の観点から、下記1～4の項目ごとに、具体的に検討すべき事項【詳細は、下記参照】

(2)上記①については、今回の震災で、被災した通信インフラの復旧や被災者支援等の観点から、取り組んだ事項又は取組予定の事項(今後の見込み)

## 1. 緊急時の輻輳状態への対応の在り方

### [今回の震災における主な事象]

- 震災発生後、特に携帯電話で輻輳状態が発生し、各社が通信規制を実施。
- NTTドコモの例では、通常の50～60倍のトラフィックが発生し、音声通話では、最大90%の通信規制を実施。他方、メールは、一時、30%規制を実施したが、すぐに規制を解除。
- 固定電話については、NTT東日本の例では、携帯電話ほどのトラフィックの増加は発生しなかったため、通信規制は早い段階で解除。また、東京都内を含む東日本エリア全体で、つながりやすい公衆電話を無料化。

☞上記事象等を踏まえて、緊急時の輻輳状態への対応の在り方について、検討すべき事項は何か。

## 2. 基地局や中継局が被災した場合における通信手段確保の在り方

### [今回の震災における主な事象]

- 通信ビル内の設備の倒壊・水没・流失、地下ケーブルや管路等の断裂・損壊、電柱の倒壊、架空ケーブルの損壊、携帯電話基地局の倒壊・流失などにより、通信設備が被災。
- 商用電源の途絶が長期化し、蓄電池の枯渇により、サービスが停止。
- 上記に対応し、移動電源車・移動基地局や自家用発電機による救済、中継伝送路の迂回ルートの構築等により設備復旧。衛星携帯電話などの無償提供により、通信手段を提供。

☞上記事象等を踏まえて、基地局や中継局が被災した場合における通信手段確保の在り方について、検討すべき事項は何か。

## 3. 今回の震災を踏まえた今後のネットワークインフラの在り方

### [今回の震災における主な事象]

- 沿岸部の通信設備については、津波の被害により、電柱・ケーブル等の多くが消失したほか、多数の通信ビル内の設備が損壊するなどの被害が発生。
- 太平洋岸に沿って基幹回線及び親局が設置されているため、固定通信については、内陸部の交換局も一時機能停止。携帯電話も、基地局までは固定回線を使用しているため、多数の基地局が停波。
- 日米間、日アジア間の海底ケーブルが一部被災。
- 携帯網、固定網、衛星網等の一層の連携が課題。
- インターネット接続に有効なWiFiネットワーク環境の整備も課題。

☞上記事象等を踏まえて、今回の震災を踏まえた今後のネットワークインフラの在り方について、検討すべき事項は何か。

## 4. 今回の震災を踏まえた今後のインターネット活用の在り方

### [今回の震災における主な事象]

- 被災者情報確認、支援物資配給等においてインターネットが有効であると考えられるものの、接続環境の回復やサイト間連携が課題。
- 情報提供機関(東電等)によっては、アクセスが集中しHP閲覧が困難な状態が発生。
- ツイッター等ソーシャルネットワークが震災情報共有に活用。
- 被災地自治体や復旧支援団体等において、早期に緊急情報提供用サイト等の立上げのため、クラウドサービスの活用も課題。

☞上記事象等を踏まえて、今回の震災を踏まえた今後のインターネット活用の在り方について、検討すべき事項は何か。

※検討すべき事項等について提出いただいた提案等は、事務局において整理・集約の上、第2回会合資料として配付予定。